

人・企業・地域が育つ あきた組織づくりフォーラム2024

秋田の2050年の生産年齢人口は53パーセント減少し、働き手の不足が深刻化することが予測されています。企業はどのような備えをしたら良いのか、また、若者が働きたい秋田にするためにどのような事に取り組めば良いのか。本フォーラムでは企業の「働き続けたい職場づくり」に向けた取組発表と共に組織開発専門家による講演会を開催いたします。

参加企業の取組発表とパネルトーク (75分)

「一次世代を活かす企業へー 働き続けたい職場づくりStepupプログラム」

各企業の「ありたい姿」や状況に沿って、優先的に取り組むべき課題を見定め、理念浸透や社員の意識サーベイ、ガチ対話、lon1の質の向上などを各社進めるとともに、今後の計画策定に取り組みました。

発表企業 (4社)

株式会社コニシタイヤ / 株式会社TAKASE / ホームテック株式会社 / 六郷小型貨物自動車運送株式会社

講演 (60分)

「働き手不足の危機を希望へー ー今、秋田の企業がとるべき打ち手と若者が働きたい職場とは?ー」



講師

組織開発専門家
リクルートワークス研究所
古屋星斗氏



HRアワード2024
書籍部門
最優秀賞
受賞

2025.2.20 (木)
14:00 - 16:50 開場 13:30

あきた芸術劇場ミルハス小ホールA

秋田市千秋明德町2-52

申込締切
2025
2.17 (月)

参加申込はこちら

事前申込制

会場定員: 150名 / オンライン参加可能



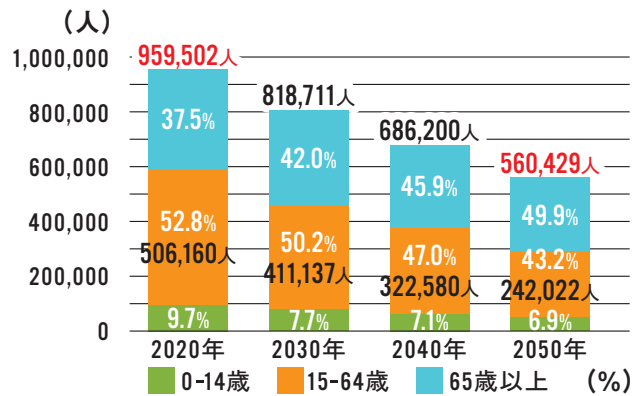
2050年の生産年齢人口は53%減少

人口減少とともに、若者を中心にやりたい仕事・やりがいのある仕事を求めて県外に流出し、中小企業を中心に人材の確保が大きな課題となっています。

このような時代に、企業が持続的に発展していくためには、働きがいやエンゲージメントを向上し、持てる力を発揮したいと思える職場づくりを実現することが重要です。

秋田県の人口推移 (2020年～2050年) →

出展：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)
※生産年齢人口とは15～64歳の人口を指します。



一次世代を活かす企業へ

働き続けたくなる職場づくりStepupプログラム2024

管理職のマネジメント力育成、コミュニケーション方法、人材育成と人事評価制度、働きやすい制度づくりなど多様な視点を盛り込んだ専門家による講座(全4回)に加えて、参加企業それぞれの課題やありたい姿に沿った伴走支援を実施。参加企業10社で切磋琢磨しながら、自社に必要な取組計画の策定に臨みました。

STEP
1

実践講座
(全4回)

STEP
2

専門家派遣
(1社3回)

STEP
3

取組発表



プログラム特設サイトで
実践講座全4回の
レポートを公開中!

www.2024.akita-stepup.com

特設Webサイトは
こちら



選ばれる企業へ

働き続けたくなる職場づくりガイドブック

昨年度の秋田県魅力的な職場づくりステップアップ支援事業に参加された企業の取組事例や若手社員に聞いた「どんな職場で働きたい?・自分が経営者ならどう変革する?」アンケート結果などを掲載しています。 PDFはこちら →



講演講師

組織開発専門家 / リクルートワークス研究所

古屋星斗氏

2011年一橋大学大学院社会学研究科 総合社会科学専攻修了。同年、経済産業省に入省。産業人材政策、投資ファンド創設、福島復興・避難者の生活支援、政府成長戦略策定に携わる。2017年より現職。労働市場分析、未来予測、若手育成、キャリア形成研究を専門とする。著書に「ゆるい職場ー若者の不安の知られざる理由」(中央公論新社,2022)、「なぜ『若手を育てる』のは今、こんなに難しいのか」(日本経済新聞出版,2023)、「『働き手不足1100万人』の衝撃」(プレジデント社,2024)。一般社団法人スクール・トゥ・ワーク代表理事。

パネルトーク ファシリテーター

株式会社Pallet
代表取締役 羽山暁子氏



お問合せ

onozucolor TEL:080-5063-1885 ※平日:9:00-17:00 / E-MAIL:office@onozucolor.com